

AWARD



「細胞と分子生理/上皮膜研究グループ」

グループディナー賞



大阪医科大学衛生学公衆衛生学教室

清水 宏泰

この度は「細胞と分子生理/上皮膜研究グループ」グループディナー賞をいただき、大変光栄に思っております。受賞論文では、CFTR チャネルを用いて、医学に重要な ABC トランスポーター・スーパーファミリー全体に共通した NBD エンジンの安定作動のためには、NBD への ATP の安定結合が担保されていることの重要性を実証しました。本実験は、大阪医科大学生理学教室の相馬義郎先生（現 慶應義塾大学医学部）と米国ミズーリ大学の T-C Hwang 教授との共同研究グループへの留学中に行ない、その後更に、相馬先生と慶應義塾大学大学院生の余盈君さんによる確認・追

加実験およびゲーティングシミュレーションが行なわれ、JPS に掲載されるに至りました。

ここに、相馬先生、Hwang 先生、当教室教授河野公一先生をはじめ、これまで御指導をいただいた多くの先生方に厚く御礼を申し上げます。

平成 11 年 3 月 大阪医科大学医学部 卒業
大阪医科大学 衛生学・公衆衛生学教室 助手・講師を経て、
平成 22 年 4 月 同 准教授
(平成 18 年 8 月～平成 20 年 1 月 米国ミズーリ大学留学)